

(1) 2014年12月20日

The Kyodan Times

(1933年12月28日 第三種)
郵便物認可 隔週土曜日発行

第4811・12号

教団新報

定価 1部144円(本体133円+税206円)
 予約購読料 1年分 5,150円
 紙代のみ 3,600円
 振替 00140-9-145275
 本紙を購読ご希望の方は、前金を
 そえて、お近くのキリスト教書店
 へお申し込み下さい。
 教会の購読料は負担金に含みます。

発行所 日本基督教団
 169-0051 東京都新宿区西早稲田2-3-18
 一時移転先 169-0072 東京都新宿区大久保1-7-18
 電話 03(3202)0546, FAX 03(3207)3918
 URL http://uccj.org
 発行人 長崎哲夫
 編集主筆 渡邊義彦
 印刷所 株式会社かんし



ピーテル・ブリューゲル
 「ベツレヘムの人口調査」
 (1566年制作 油彩 ベルギー王立美術館蔵)

来年は敗戦後70年を迎える。いつであったか雑誌「信徒の友」から敗戦の年のクリスマスの思い出を書いてほしいと言われ、少々困惑したことがある。敗戦がもたらした絶望と虚脱の思いは、物質的な貧しさ、飢餓の現実と重なり、単純な解放感の満ちた降誕祭などとは程遠いものであった。語るべきものは何もなかったとしか言えなかつた。

しかし、ただひとつ今はお鮮明におぼえていることがある。誰かもみの小さな木手に入れてきた。牧師の妻はアメリカ人の元宣教師であった。ドイツ系の家庭の人であり、故国から届いたというデコレーションの箱を開けてくれた。まさに簡素な金と銀のモノだけのようであった。その糸をかけるとそれでおしまいかと思ったら、夫人は、

「慰めよ、わたしの民を慰めよ／あなたたちの神は言われる」(イザヤ書第40章1節)。

「ハンドルの「メサイア」は、柔軟な、しかし、透徹する、このイサヤの言葉を

歌うテナーの歌声が始ま

る。捕囚期の預言者第二イ

ザヤが預言した慰めの時が

遂に来たのだと告げる。今

来られる主のために道を備

えよ」と呼びかける(3節)。

1966年、降誕の祝い

の食事に、私は、他の日本

やアフリカからのドイツ留

学生たちと共に、東ベルリ

ンのある家庭に招かれてい

た。その最中に牧師が訪ね

てきた。開口一番、「遂に

やりました。今年はゼロで

す!」と叫んだ。家族は口

を揃えて喜びに溢れて答えた。「そうですか。よかつた。」

「そうですね。」と笑った。

「どうしてですか。」

「なぜですか。」

「なぜですか。

第4811・12号

(第三種郵便物認可)

教 团 新 報

2014年12月20日

(4)

常議員(教職)
プロフィール

- (1)出身地
(2)出身神学校
(3)牧会歴
以降より選択して自由に
☆趣味
☆愛唱聖句(聖書箇所・讃美歌)
☆好きな食べ物・嫌いな食べ物
☆長所・短所

◎順不同

岡 村 恒
大阪教区

☆愛唱聖句||ヨハネによる福音書15章9節愛唱讃美歌||2編195番
☆教団全体が、福音的公同教会の枝であることを改めて自覚しつつ、受洗者を次々と生み出し、主を証したことができるよう祈ります。

真 壁 巖
西東京教区

☆愛唱聖句||ルカによる福音書22章31～32節、愛唱讃美歌||讃美歌21・297番
☆好きな食べ物||お寿司、嫌いな食べ物||原色系の甘藷子
☆長所||初対面の人との出会いが好き、短所||話すのに早く、聞くのに遅い!
☆趣味||愛犬との散歩、保育参加

宮 本 義 弘
東海教区

☆愛唱聖句||ヨハネによる福音書15章9節愛唱讃美歌||2編195番
☆趣味||映画鑑賞、鍵盤楽器演奏

長 山 信 夫
東京教区

谷村教会礼拝堂用長椅子、鳥居坂教会では牧師館の押入れに子供用二段ベッド、銀座教会牧師館リビングに食器棚、今年は教会入り口階段にクリスマスツリー用台など作りました。いずれもどこか歪んでそれだけに親しまれてきました。

(1)大阪府
(2)教師検定規則第3条6項による
(3)大和キリスト教会

☆趣味||昔も今も音楽で

岡 本 知 之
西宮教区

学生時代にバイトして買ったタンソイ・レクタンギュラーGRFを今も使っています。

篠 浦 千 史
さや教会

す。バッハの無伴奏チエロソナタ、キース・ジャレットのケルンコンサート、及びフルトヴェンゲラーが大好きです。スピーカーは、

高 橋 潤
中部教区

兵庫教区

西宮教会

す。バッハの無伴奏チエロソナタ、キース・ジャレットのケルンコンサート、及びフルトヴェンゲラーが大好きです。スピーカーは、

高 橋 潤
潤

中部教区

西宮教会

す。バッハの無伴奏チエロソナタ、キース・ジャレットのケルンコンサート、及びフルトヴェンゲラーが大好きです。スピーカーは、

高 橋 潤
潤</div